



希望のまちプロジェクトとは？

— 単身社会と地域共生社会 —

2025年9月16日

孤独・孤立シンポジウム



NPO法人 抱樸

東八幡キリスト教会

NPO抱樸

ホームレス支援全国ネットワーク

日本伴走型支援協会

生活困窮者自立支援全国ネットワーク

全国居住支援法人協議会

共生地域創造財団

全国日常生活支援住居施設協議会

日本福祉大学 客員教授

奥田知志



抱樸の活動



《現在までの活動実績》



〈2024年3月現在、出典：同法人ホームページより当社作成〉

希望のまちプロジェクト



工藤會の影響
 怖いまちから
 希望のまちへ

日本で唯一の特定危険指定暴力団。 北九州市のイメージや経済への影響は、極めて大きい。



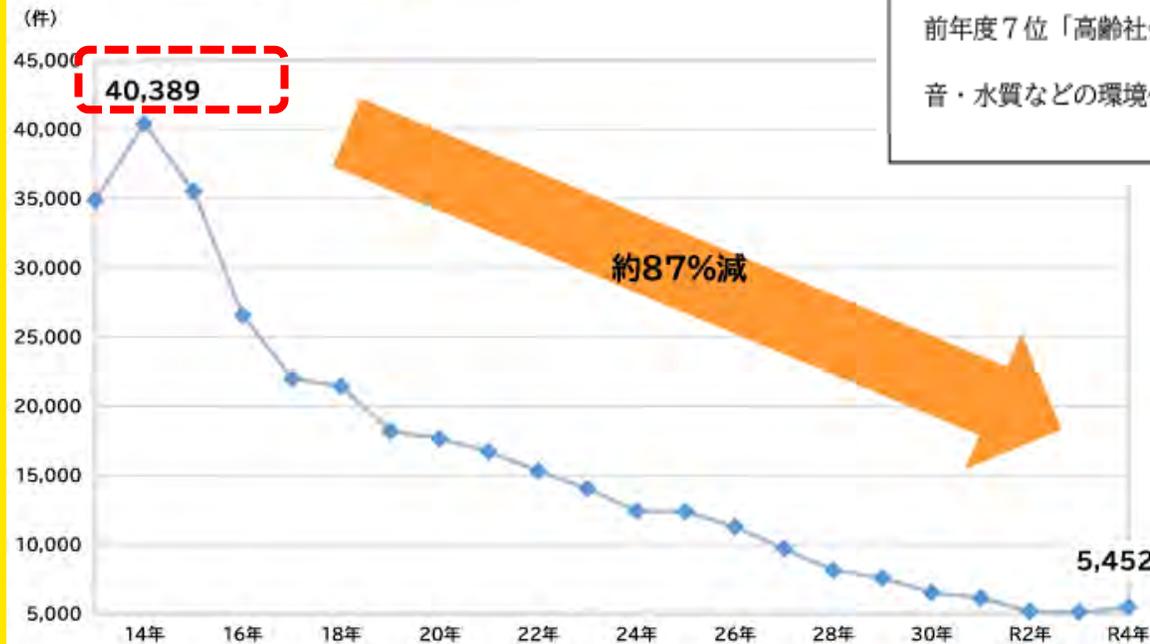
(1) 市政評価

- ◇ 1位:「防犯、暴力追放運動の推進」、平成27年度以降9年連続1位となる。
- ◇ 2位:「子育て支援の推進」、3年連続2位となる。
- ◇ 3位:「医療・衛生管理体制の充実」、2年連続3位となる。

市政評価ベスト10は令和4年度と今年度で1～6位が同じ順位となっている。

前年度7位「高齢社会対策の推進」が13位にランクを下げ、前年度15位「大気・騒音・水質などの環境保全」が10位とランクを上げている。

●北九州市の刑法犯認知件数の推移



「安全・あんしんなまち北九州 刑法犯認知数の推移」より

「令和5年度市民意識調査の結果について」より



希望のまちの目的

- ① 助けてと言えるまち
- ② まちを大きな家族に
— 家族機能の社会化
- ③ まちが子どもを育てる
— 相続の社会化

②まちを大きな家族に —家族機能の社会化

地域共生社会における
互助機能の強化

昭和55年（1980年）

家族の風景
6割以上

第1位



42%

第2位



20%

第3位



20%

(資料) 内閣府男女共同参画局 (2022) 『結婚と家族をめぐる基礎データ』 2022年3月2日

2020年（40年後）

单身増加
家族の不在

第1位



38%

第2位



夫婦と子ども

25%

...

第5位



三世帯同居

7%

(資料) 内閣府男女共同参画局 (2022) 『結婚と家族をめぐる基礎データ』 2022年3月2日

病気の時や日常生活に必要な作業について頼れる人の有無 (国際比較)

(※複数回答)

	60歳以上の単身者が頼れる人 (2015年)				
	別居 家族	友人	近所の人	その他	頼れる人 なし
日本	67.3%	21.1%	15.8%	7.0%	12.9%
米国	55.9%	48.0%	27.0%	9.2%	13.1%
ドイツ	63.3%	46.0%	45.0%	5.9%	6.1%
スウェーデン	58.0%	49.1%	30.1%	9.6%	9.2%

(資料)藤森克彦(2016)「単身高齢世帯(一人暮らし高齢者)の生活と意識に関する国際比較」(内閣府政策統括官(共生社会政策担当)『高齢者の生活と意識—第8回国際比較調査結果報告書』2016年3月)。

地域包括ケアシステム

社会保障制度の前提 家族と住まい



ここが
ある前提

家族機能 きづき・つなぎ

日常を共にしているから変化にきづける
きづいた家族は専門家・制度につなげる

希望のまち  单身化社会への対応
家族機能の社会化

会員 284人

このうち
なかまの会85人

会費 1か月
500円



互助会活動内容

週・月単位の定例行事

水	「なごみ」囲碁将棋・カフェ
金	仕分け・地域清掃
第2金曜	世話人会
第3水曜	誕生日会
月末	翌月の互助会レター・カレンダー配布
★	長寿・結婚・出産のお祝い
★	お見舞い
★	お助け活動
★	安否確認
★	互助会葬(葬儀を出す家族無し、生前意思確認あり)

年間行事

4~5月	春の野外交流会
7月	抱樸・街頭募金
8月	炊き出し「追悼集会・夏まつり」
9月	偲ぶ会・そうめん流し・互助会全体会
10月	ゴーイングホームデイ(大運動会)
11月	バスハイク 地区懇談会
12月	抱樸・街頭募金
1月	新年炊き出し
	鏡びらき
	新年カラオケ交流会
2~3月	将棋大会・卓球大会

なごみカフェ



誕生日会



春の野外交流会



バスハイク



ご長寿のお祝い



お助け活動



ボランティア活動 仕分け・地域清掃活動



個別訪問 レター・カレンダー ～安否確認～



入院お見舞い・施設訪問



冥途の土産プロジェクト

